

安全・快適
必要性

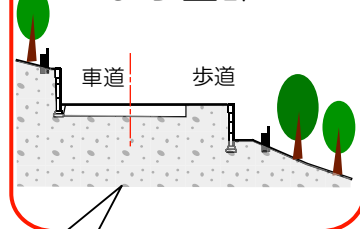
自然環境の保全
守りたいこと

解決 そして 合意形成にむけて

専門家会を設置

環境に配慮した道づくりを検討

よう壁部

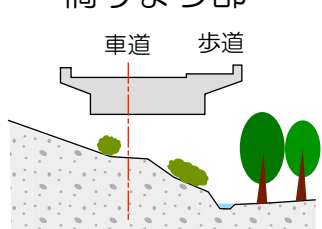


車道部は最小に
歩道も片側だけ
道路の外は変更しない

みずみちの確保、
小動物の通り道に

表土や幼木の移植、
森の連続性を図ります

橋りょう部



シェルター構造部



専門家会の提言により

- ◆もりへの影響が少なくなるようルートを変更
- ◆改変面積最小化のため構造物の変更
- ◆みずみちの保全と小動物の移動経路を確保
- ◆地元住民が関われる課題については、意見や提案を受け調整し、実施計画していくシステムを作動

地元住民との 共同体制の確立へ

新しい仕組みへのチャレンジ ～施工ワーキングの取組み～

施工計画を
市民・行政・専門家・施工者
みんなでチェック

行政
(名古屋市)

専門家
市民

施工者

地権者、住民等

工程・工法など、さらなる環境
配慮の可能性をみんなで議論

今までにない、
行政と一緒に考える場、
施工者の顔が見える場に

※行政と施工者との間に
市民や専門家が入り、
サンドイッチのように
一体になった取り組みです。

64回実施
(2003.7～2010.9)

ワーキングの活動紹介

設計のチェック！！

行政の担当者や施工者は数年で異動
私たちがしっかりチェック！



もっと改変面積を小さくできないかな・・・？



現地主義！！
図面では
よくわからん

森林に道路を作るとき
は、現地の自然環境を
把握することが必要



この木は
残せるかな？

施工のチェック！！



伐採する樹木は最小限に
若木はシェルター上部などへ移植
伐採した木もチップ化などで有効利用（コアラの止まり木にも利用）



モニタリング！！

タヌキなどの小動物を継続的に調査
今年もいろんな場所に出発



湧水や地下水、森の変化を監視中！



あっ、トンネルだ



ヒメボタルの生息調査
暗闇の中へ出発！！

